

野村アセットマネジメント 提出資料

NOMURA

Connecting Markets East & West

金融審議会 市場WG資料

高齢社会における金融サービスのあり方

野村アセットマネジメント

常務執行役員 投資信託営業本部長

栗崎 修

2018年11月5日

Expertise to Exceed¹

時代を先駆ける専門性と先見性を力に。
卓越したパフォーマンスとソリューションを追求することで、
期待のさらにその先へ。

投資信託協会の主な啓発・普及活動

当ページは、投資信託協会が作成したものです。

一般向け地方講演会



富山 / 島根 / 宮城(仙台)
福井 / 愛媛(松山) / 福岡

●特別講演
地元縁のある著名人による特別講演

●パネルディスカッション

- ① FPによるNISAや確定拠出年金の制度解説
- ② トークセッション

投資におけるリスクとの付き合い方、
NISA・ジュニアNISA・つみたてNISA、
iDeCoの利用に関して、運用会社が回答

登壇者：投資信託運用会社 2名
第1部特別講演での登壇者

コーディネーター：協会長又はFP

現役世代向け講演会(ライフ&マネーフェスタ)

●FPによるトークセッション
「はじめて投資信託」

現役世代向け講演会(J-リートセミナー)

●リート運用会社による講演
「J-リートって何? ~初めての人にプロが
教える不動産投信のしくみ~」
●パネルディスカッション
登壇者：リート運用会社

現役世代向け講演会(女性限定)

●FPによる講演
「マネー美人のための資産形成セミナー2018」
●トークセッション
登壇者：FP
投資信託運用会社

(出所) 一般社団法人投資信託協会作成

投資信託協会の主な啓発・普及活動

当ページは、投資信託協会が作成したものです。

DC担当者向け講演会(事業会社対象)

～ 企業型確定拠出年金カンファレンス ～

●FPによる講演

確定拠出年金をきっかけに考える資産形成
～『長期・積立・分散投資』の魅力～

●パネルディスカッション

加入者に投資信託への関心を
持ってもらうための投資・資産形成とは？

登壇者:FP

事業会社の確定拠出年金担当者

モデレーター:NPO法人確定拠出年金教育協会

刊行物等



アンケート調査

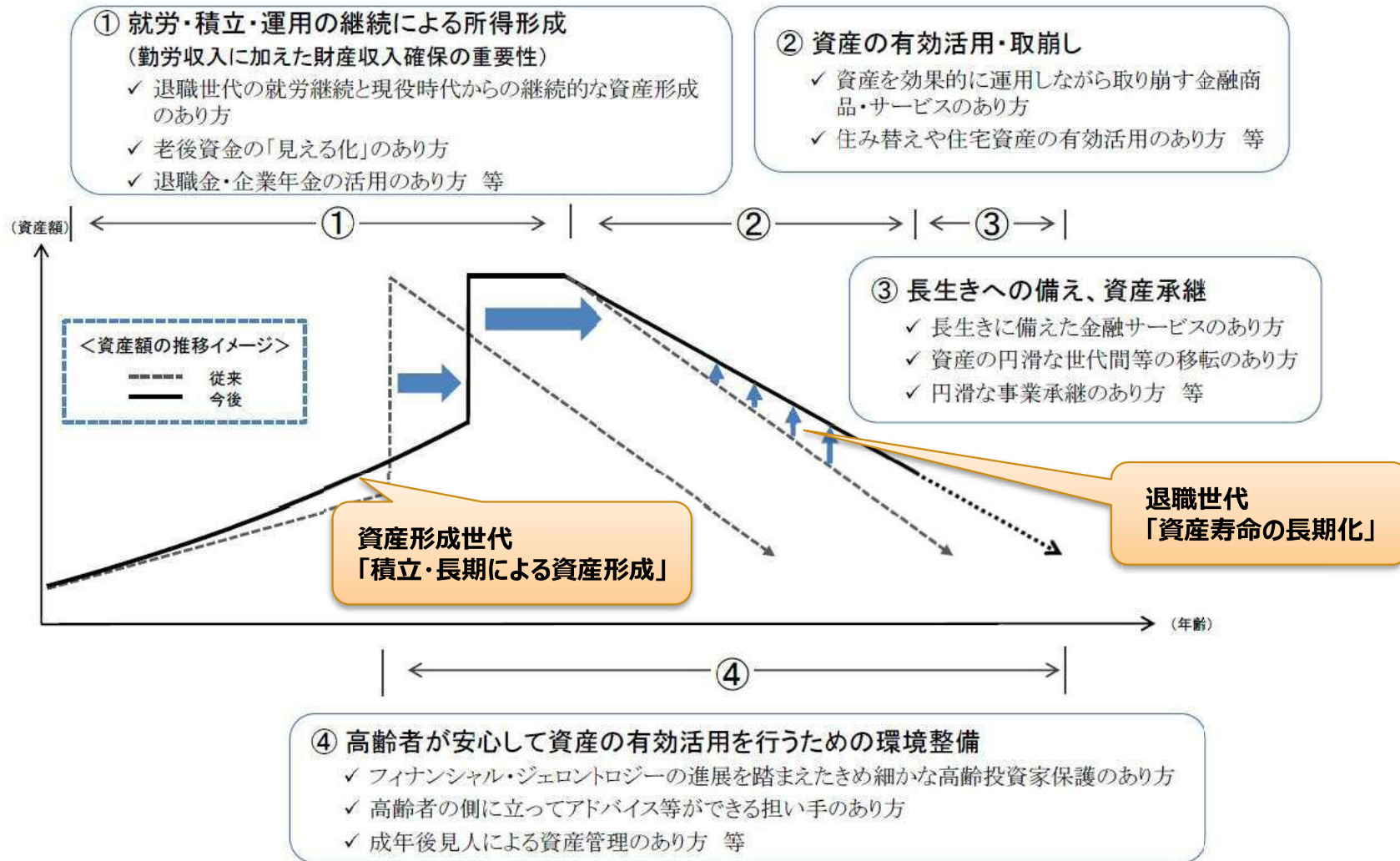
投資信託に関するアンケート調査 (定例)
【全般編】 【制度等編】

2019年1月実施予定
60歳以上を対象とした投資の意識調査
(新規)

少子高齢化社会における
家計の資産形成・資産運用が
経済成長に貢献する
投資信託の活用を
目指す

(出所) 一般社団法人投資信託協会作成

資産形成世代と退職世代の各世代に対してのアプローチ事例をご紹介します。



(出所) 金融庁「高齢社会における金融サービスのあり方 (中間的とりまとめ)」より野村アセットマネジメント作成

資産形成層へのアプローチ

NOMURA

金融審議会市場WG資料

資産形成層にむけて、長期・積立に適した投資信託（インデックスファンド）の「親しみやすさ」「わかりやすさ」を訴求

女性限定の「朝活」セミナー

投資について「楽しくおしゃべりに学ぶ」というリアルな体験を提供することで、「お金との付き合い方」を考えていただくきっかけ作りを目指しました。そこで今回は、「私らしさが光る資産づくり」をテーマに、女性に人気のカフェ「サラベス東京」で、朝活セミナーを開催しました。



ファンド専用サイト・リニューアル



プロモーション



(出所) 野村アセットマネジメント

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した金融審議会市場ワーキング・グループ向けの資料です。投資信託に関する情報が一部掲載されていますが、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。また特定の金融商品や銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

金融ジェロントロジーに関する共同調査

「人生100年時代」の金融サービスのあり方を探るために調査を実施しました。

News Release

NOMURA

2018年1月26日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社
株式会社野村資本市場研究所

「金融ジェロントロジーにおける資産運用に関する調査」結果について
～人生100年時代の金融サービスのあり方を探る～

野村アセットマネジメント株式会社 (CEO兼執行役社長:渡邊国夫) と、株式会社野村資本市場研究所 (取締役社長:松谷博司) は、「人生100年時代」と言われる個人の長寿化と社会の超高齢化における高齢者層の資産運用のあり方を探るため、「金融ジェロントロジーにおける資産運用に関する調査」を2017年11月に実施しました。その調査結果をまとめましたので公表します。

主な調査結果は以下のとおりです。

【主な調査結果】

- ◆ **身体や気力という点では、高齢世代ほど老齢化を自覚する回答が増加するが、理解力・思考力・判断力の低下を自覚する回答は相対的に緩やかに上昇**
・70代に入ると、「体力」「気力」「持続力」が低下し、「健康が損なわれる」との回答が増加。財産管理能力に関連する「理解力」「認識力」「思考力」「判断力」が低下するとの回答割合は緩やかに上昇。80代では、4割以上が「記憶力」「認識力」「継続力」の低下を自覚。
- ◆ **認知機能の低下に直面すると、「現投資家」の4割が証券投資による運用をやめて預金と回答。事前に運用方針を決めて家族等と共有したいとの回答の割合も約3割に達する**
・「資産運用をやめて預金」、「事前に運用方針を決めて家族等と共有」との回答の割合は、各年代共他の項目と比べて高い。他方、60代においては、「どうしていいのかわからない」が4割。認知症に直面した際の対応について必ずしも定まっていなかったことがうかがえる。
- ◆ **年間の資産取り崩し額は、金融資産の3%相当額。金融資産の取り崩し可能年数としては、34年**
・年間の取り崩し額は、金融資産の3%相当額。金融資産の取り崩し可能年数としては、34年となる。これに平均年齢を加えると資産寿命は平均寿命や100歳を超える。ただし、計画的に取り崩している割合は2割を下回っている。計画的な取り崩しを行うことで資産寿命を管理する必要がある。
- ◆ **老後資金の運用も「元本を維持する」。計画的に資金を受け取りながら運用することに関心がある**
・預金などの元本保証商品のみとするだけでなく、証券投資による資産運用においても「元本を減らさないこと」に対する意向は高い。投資信託を活用して計画的に資金を受け取りながら運用することに関心が見られる。

*本調査の対象が高齢者であるために生ずる留意点として以下が挙げられる。
 ・必然的に心身とも相応に健康な人が回答しない。従って年代が上がるほど、世代全体の実態と乖離する可能性がある。
 ・個々の資産規模や投資経験など、それまでの人生経験の差異は若年層以上に大きい可能性があり、平均値に対しては幅をもって理解する必要がある。

【調査概要】

■ **調査目的**
「人生100年時代」と言われる個人の長寿化と社会の超高齢化において、保有する金融資産が長期まで枯渇することなく、長期に維持されることが求められている。本調査では、60歳以上の高齢者層を対象に、金融ジェロントロジー（金融に係る老年学）に基づき、老齢化の状況や認知機能の低下などの中で、金融資産の運用や管理の状況と意識を把握することをねらいとしている。またこれらの調査結果を公表することにより、資産運用に関する調査研究の向上など、社会への還元を図ることを目的とする。

■ **調査対象・サンプル数**
調査対象：3,054サンプル。60歳以上89歳までの男女（調査会社に登録しているモニター）から3,000サンプルを目途に調査を実施。なおサンプルの集計において、人口統計等に基づき、年代別構成比を合わせ、ウエイトバックというサンプル数補正を行なった上で集計処理を行なっている。

<本調査におけるサンプル数（属性別）>

| 属性 | | | 属性 | | | 属性 | | |
|---------|--------|------------|------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 属性 | サンプル数 | 比率 | 属性 | サンプル数 | 比率 | 属性 | サンプル数 | 比率 |
| 60歳～89歳 | 合計 | 3,054 100% | 高齢期 | 前期 | 1,330 44% | 月間 | 0～20万円未満 | 730 24% |
| 年代別 | 60代 | 1,336 44% | | 後期 | 1,135 37% | 収入額 | 20～30万円未満 | 874 29% |
| | 70代 | 1,085 36% | 婚姻別 | 未婚 | 110 4% | | 30～50万円未満 | 652 21% |
| | 80代 | 633 21% | | 既婚 | 2,317 76% | | 50万円以上 | 355 12% |
| 年齢階級別 | 60-64歳 | 589 19% | | 離別 | 165 5% | わからない | 443 14% | |
| | 65-69歳 | 747 24% | | 死別・不明 | 461 15% | 金融資産 | 持っていない等 | 1,053 34% |
| | 70-74歳 | 583 19% | 60代 | 有職 | 620 20% | 階級別 | 300万円未満 | 282 9% |
| | 75-79歳 | 502 16% | | 無職 | 716 23% | | 1000万円未満 | 511 17% |
| | 80-84歳 | 476 16% | 70代 | 有職 | 223 7% | | 4000万円未満 | 804 26% |
| | 85-89歳 | 157 5% | | 無職 | 835 27% | | 1億円未満 | 341 11% |
| 男女別 | 男性 | 1,369 45% | 80代 | 有職 | 61 2% | | 1億円以上 | 63 2% |
| | 女性 | 1,665 55% | | 無職 | 556 18% | 株式・投資 | 株式のみ保有 | 539 18% |
| 男性 | 60代 | 651 21% | 同居家族 | 親 | 163 5% | 現保有状況 | 投資のみ保有 | 267 9% |
| | 70代 | 497 16% | | 配偶者 | 2,243 73% | | 両方保有 | 384 13% |
| | 80代 | 241 8% | | 子 | 961 31% | | 保有していない | 1,864 61% |
| 女性 | 60代 | 685 22% | | 孫・ひ孫 | 187 6% | 株式・投資 | 投資経験あり | 1,453 48% |
| | 70代 | 588 19% | | その他 | 2,582 85% | 投資経験 | （うち過去保有） | 264 9% |
| | 80代 | 392 13% | | いない | 472 15% | | 未経験 | 1,601 52% |

■ **調査地域と調査方法**
・全国
・60代：インターネット調査、70代および80代：郵送調査およびインターネット調査

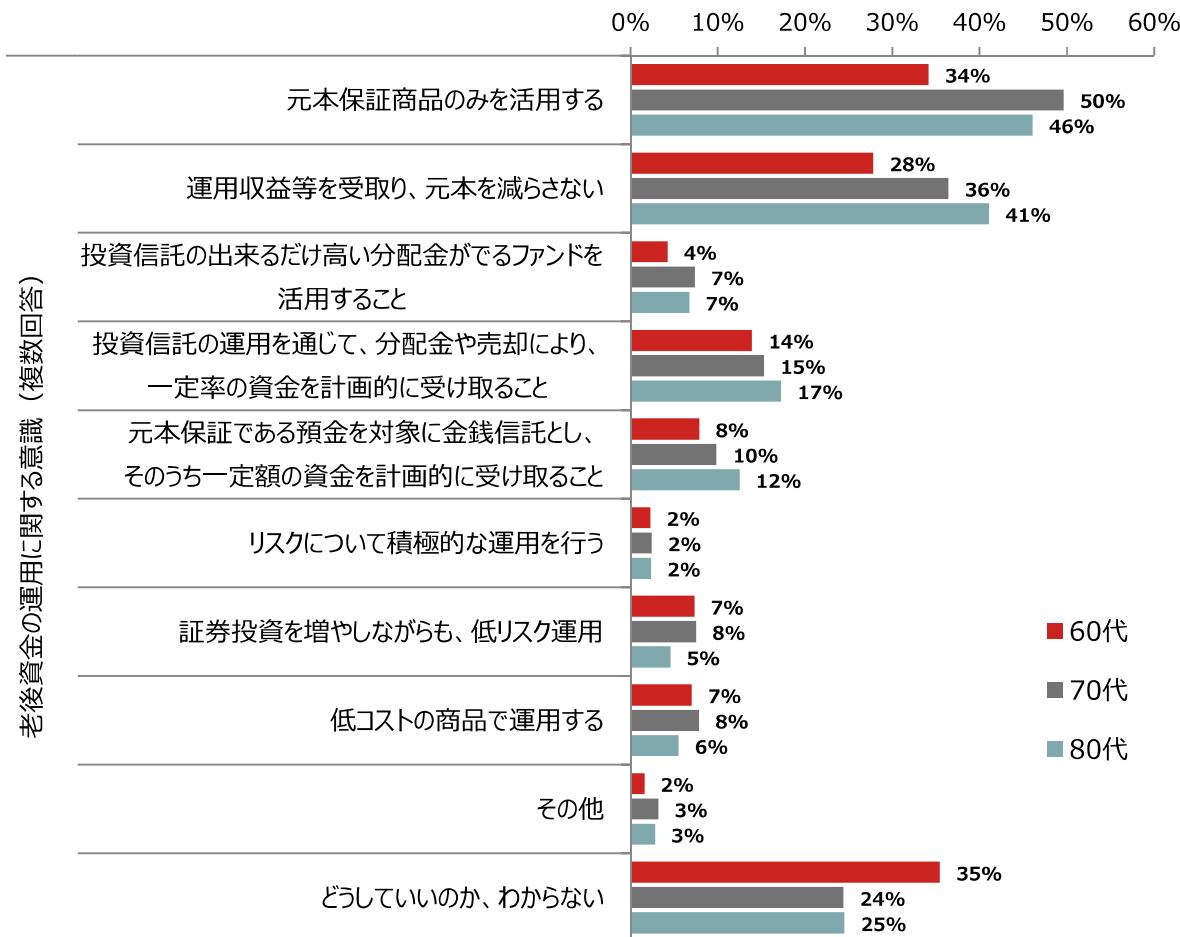
■ **調査時期**
・郵送調査 発送 2017年11月1日（水）～投函期 11月13日（月）
・インターネット調査 2017年11月9日（木）～11月17日（金）

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した金融審議会市場ワーキング・グループ向けの資料です。投資信託に関する情報が一部掲載されていますが、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の金融商品や銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

老後の資金運用に関する意識（調査結果の一部抜粋）

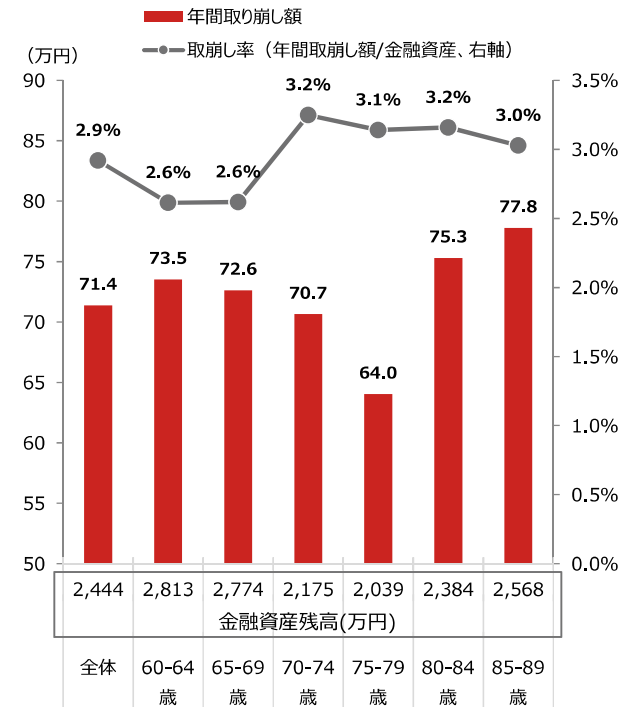
老後の資金運用は、「元本保証」、「元本確保＋収益受取り」に強い意向
「どうしていいのかわからない」層も高い割合存在

老後資金の運用に対する意識（複数回答）（全体 n=3,054）



年間取り崩し額（全体 n=3,054）

◆ 年間取り崩し想定額は、約 3%



(出所)「金融ジェントロジーにおける資産運用に関する調査」

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した金融審議会市場ワーキング・グループ向けの資料です。投資信託に関する情報が一部掲載されていますが、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。また特定の金融商品や銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

安心感や安定感、収益受取を求める投資家を想定した商品開発

損失の下限を定めるファンド（例）

ストップライン付き 野村ワールドボンド・ファンド (愛称：ほっとステップ)

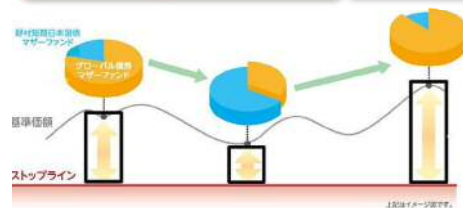
ファンドのポイント

損失限定のしくみ

- ファンドを安心して保有していただくため、基準価額があらかじめ定められた水準（ストップライン）を下回らないなど、損失を大きくしないためのしくみをつけました。
- 基準価額が下落した場合は価格変動が大きい資産への投資比率を引き下げます。
- ファンドは損失限定を図るための契約を結びます。契約提供会社は「クレディ・スイス・インターナショナル」。

リスク抑えた運用

- 信用力の高い先進国の国債等が主な投資対象です。
- 安定的なリターンを目指した運用をします。



当ファンドは、「先進国の国債等」へ投資する「グローバル債券マザーファンド」と「日本の短期国債等」に投資する「野村短期日本国債ファンド」の2つのマザーファンドに投資します。各マザーファンドの投資配分比率はファンドが実質的に保有する資産全体のリスク水準を考慮して決定します。

投資配分比率に応じて、ファンドの信託報酬が変わります。

ストップライン引き上げのイメージ



※ファンドの最大値を基準とするものではありません。

※ストップラインは引き下げることはありません。

ストップラインとは？

運用の終了（繰上償還）を決定する水準です。基準価額がこのラインを下回ったとき、運用の終了（繰上償還）が決定します。基準価額の上昇に合わせてストップラインもステップアップします。一度上がったストップラインは引き下がりません。

ターゲット・インカム・ファンド（例）

「野村ターゲットインカムファンド」 (愛称：マイ・ロングライフ)

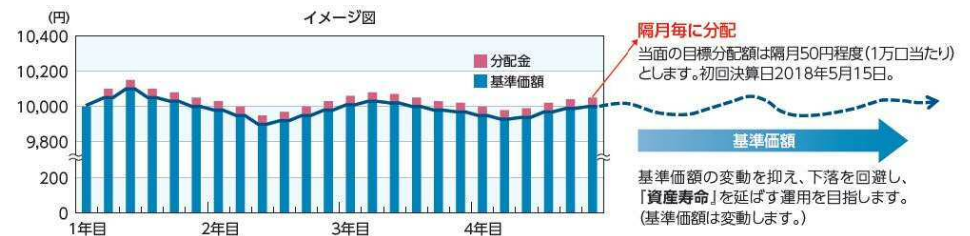
ファンドのポイント

目標利回り

- 中長期的な観点から、年率3%程度の利回り*（コスト控除後）を確保することをめざします。*ファンドのポートフォリオにおける利回りのことであり、毎年3%の投資収益が得られるものではありません。

隔月分配

- 一定の分配を行ないながらも「資産寿命」を延ばすことをめざします。
- ここでの「『資産寿命』を伸ばす」とは、基準価額の大幅な下落を抑えることで信託財産の保全を目指した運用を行なうことを通して、投資家の皆様の資産の保全を図ることです。



隔月毎に分配
当面の目標分配額は隔月500円程度(1万口当たり)とします。初回決算日2018年5月15日。

基準価額の変動を抑え、下落を回避し、「資産寿命」を延ばす運用を目指します。(基準価額は変動します。)

公的年金の支払われない奇数月に隔月分配を行います。奇数月15日（休業日の場合は翌営業日）に、分配の方針に基づき分配します。（分配金額は分配方針に基づき、委託会社が決定します。したがって、実際の分配金額は目標分配額を上回ったり下回ったりする可能性があります。）



(出所)各ファンドの販売用資料より抜粋し、野村アセットマネジメント作成

「人生100年時代」における資産運用提言

長い人生を想定した資産運用提案

ファンドの販売用資料に、長い人生と資産運用の意義について問いかけ



(出所)野村ターゲットインカムファンドの販売用資料より抜粋

人生100年時代をテーマにしたセミナー開催

- 9月から11月にかけて、東京、名古屋、大阪で開催（一部予定）
- イベントテーマ「人生100年時代、ゆとりある生活のために必要なこと」
 - ・ 主催：朝日新聞社メディアビジネス局、東京新聞広告局
 - ・ 協賛：野村證券、野村アセットマネジメント
- プログラム
 - ・ 第一部：基調講演 草野仁氏
 - ・ 第二部：パネルディスカッション（草野 仁氏、野村證券と弊社担当者）

